

A—63 エリソルビン酸のポーラログラフ的研究
(第6報)

—エリソルビン酸の分解に及ぼす無機
酸および鉄の影響—

奈良女大家政 ○梶田 武俊
高田 厚子
長谷川千鶴

1. L-アスコルビン酸 (AA) とその異性体であるエリソルビン酸 (EA) との分解速度差を利用して、両酸の分離定量を行なうための基礎的研究を行なった。すなわち AA と EA の分解は一次反応であり、しかも分解速度差には再現性があり、混合割合および濃度変化と分解率間に直線関係が成立すれば、分離定量が可能であると考えられるので、これらの諸点について検討した。

2. AA・EA はいずれもポーラログラフ法により測定した。

3. 硫酸および鉄イオンを添加し、酸素を通気することによって AA と EA の分解速度間には顕著な差がみられ、この差には再現性があり、しかも濃度変化及び混合割合と分解率間に直線関係が成立することを認めた。